

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている			
	変わらない	一般小売店〔輸 入ブランド品〕 （経理担当）	来客数の動き	・観光客は増加しているが、観光に来た客はあまり商品を買わない。
		コンビニ（経営 者）	単価の動き	・来客数は増加しているが、客単価が上昇しない。
		乗用車販売店 （経営者）	競争相手の様子	・需要は低価格車、小型車に集中している。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・来客数は少しずつ増加しているが、売上額は前年を下回っている。大きな落ち込みがあるわけではないが新たな地域の開発が進み、その地域には新しいライバル店が連立し広がってきている。これからは地域対地域の競争に加えて個々の店舗の付加価値や良さをいかに強調していけるかが重要であり、厳しい状況が続いている。
		旅行代理店（経 営者）	単価の動き	・依然として低価格商品中心の販売となっている。
	やや悪く なっている	コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・本来、夏に売れるべき飲料・ビール等の商品の販売額が上昇していない。天候の影響も多分にあるだろうが、少しでも支出を抑えたい心境の表れとみられ、消費の我慢が見受けられる。
		家電量販店（副 店長）	単価の動き	・来客数は増加しているが、平均単価は上昇しておらず、季節商品を除くと販売増加の要因は見られない。
		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	それ以外	・サッカーワールドカップの後に立て続けに来た台風の影響により来客数が減少し、生鮮物の価格が上昇するなどの状況も加わったため、厳しい営業内容となっている。
	観光名所（職 員）	来客数の動き	・前年同月比の施設の来客数を3か月前と比較すると、施設への来客数が96.0%から88.3%、有料施設への来客数が94.6%から90.7%とともに減少している。	
	住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・販売戸数は低価格水準の物件が3か月連続で減少している。	
	悪く なっている	一般小売店 〔鞆・袋物〕 （経営者）	来客数の動き	・台風の影響で営業日数が少なかったため、来客数も減少している。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	輸送業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・中元シーズンで物量は予想していた程ではないが増加している。
		通信業（従業 員）	受注価格や販売 価格の動き	・ほぼ予定通りの受注額で案件が確保されている。
	変わらない			
	やや悪く なっている			
	悪く なっている	-	-	-
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 （経営者）	求人数の動き	・派遣の追加依頼および問い合わせが増加している。単価自体は据え置きや厳しい状況が続いているが、派遣依頼数としては増加している。
	変わらない	求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・県内就職の求人状況に変化はないが、県外就職が増加している。
	やや悪く なっている	人材派遣会社 （営業担当）	求人数の動き	・この時期求人数等は減少傾向にあるが、例年に比べ減少幅が大きい。
		悪く なっている	-	-